

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)」は、2018年12月25日に第1期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目標として積極的な運用を行います。	
主要運用対象	インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を主要投資対象とします。
組入制限	インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)	・株式への実質投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回の毎決算時(原則として12月23日)。同日が休業日の場合は翌営業日)に委託会社が、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。	



インベスコ 世界厳選株式オープン

<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)

愛称：世界のベスト

追加型投信／内外／株式



運用報告書 (全体版)

第1期
(決算日 2018年12月25日)

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I ワ ー ル ド ・ インデックス(円ヘッジ指数)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分	み 期 騰 落 中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 中 率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2018年10月5日	10,000	—	—	162.83	—	—	1
1期(2018年12月25日)	8,270	0	△17.3	134.66	△17.3	93.8	0.831997

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)を使用しています。基準日前営業日の円ヘッジ指数を用いています。なお、日次ベース開示開始日を100として当社で独自に指数化しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。以下同じです。

(注) 設定日のMSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、設定日の前営業日(2018年10月4日)の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ワ ー ル ド ・ インデックス(円ヘッジ指数)		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率	
(設定日)	円	%		%	%
2018年10月5日	10,000	—	162.83	—	—
10月末	9,279	△7.2	149.45	△8.2	95.9
11月末	9,195	△8.1	151.91	△6.7	99.8
(期 末)					
2018年12月25日	8,270	△17.3	134.66	△17.3	93.8

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I ワ ー ル ド ・ インデックス(円換算指数)		株 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分	み 期 騰 落 中 率	(ベンチマーク)	期 騰 落 中 率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2018年10月5日	10,000	—	—	249,851	—	—	1
1期(2018年12月25日)	8,237	0	△17.6	198,451	△20.6	96.5	4

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス(円換算指数)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社で独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。以下同じです。

(注) 設定日のMSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、設定日の前営業日(2018年10月4日)の指数値です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I ワ ー ル ド ・ インデックス(円換算指数)		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率	
(設定日)	円	%		%	%
2018年10月5日	10,000	—	249,851	—	—
10月末	9,203	△8.0	226,201	△9.5	96.7
11月末	9,322	△6.8	230,898	△7.6	98.8
(期 末)					
2018年12月25日	8,237	△17.6	198,451	△20.6	96.5

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。

投資環境

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△21.0%	S & P 500指数 (米国)	△18.5%
FTSE 100指数 (英国)	△8.6%	DAX指数 (ドイツ)	△12.2%
CAC 40指数 (フランス)	△13.7%		
米ドル/円	110円07銭 (設定日114円13銭)	ユーロ/円	125円44銭 (同131円36銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点 (対設定日比)、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

<株式市場>

当期の世界の株式市場は、主要先進国で下落しました。

米国株式市場は、①長期金利上昇への警戒感の高まり、②米中貿易摩擦の激化、③国際通貨基金 (IMF) による世界の経済成長見通しの下方修正—などに対して懸念が高まったことなどから、株価が下落しました。欧州では、①イタリアの政局不安が嫌気されたこと、②英国の欧州連合 (EU) からの離脱 (ブレグジット) をめぐる交渉が難航したこと—などから株価が下落しました。日本の株式市場は、米中貿易摩擦の激化や世界的なリスク回避の動きを受けて下落しました。

<為替市場>

当期の米ドル/円レートは、2018年12月中旬までは、米中貿易戦争に対する懸念がくすぶる一方、米国の堅調な経済指標などを要因に、一定の範囲内での推移となりました。しかし12月に入り、米中貿易戦争の一層の激化懸念や世界景気の減速見通しなどから株式市場などが調整色を強めると、米ドルは対円で大幅に下落する展開となりました。

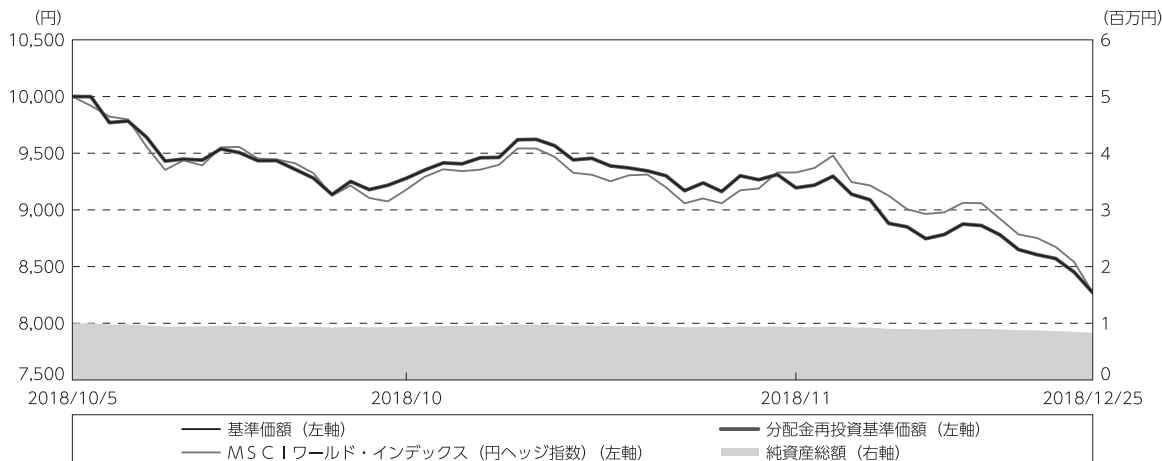
当期のユーロ/円レートは、イタリアの2019年予算案をめぐる混乱などが嫌気され、対円で大きく下落しました。

○運用経過

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)

期中の基準価額等の推移

(2018年10月5日～2018年12月25日)



設定日：10,000円

期末：8,270円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 17.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円ヘッジ指数)は、ベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE NV (オランダ/食品・生活必需品小売り)の株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式を実質的な主要投資対象としているため、投資対象の全株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・UNITED TECHNOLOGIES (米国/資本財)、CITIGROUP (米国/銀行)、CANADIAN NATURAL RESOURCES (カナダ/エネルギー)などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド（以下、マザーファンドといたします。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュース・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。実質株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「エネルギー」をオーバーウェイトとした一方、「情報技術」「一般消費財・サービス」などをアンダーウェイトとしました。当期の新規組入銘柄は、全てファンド設定に伴うポートフォリオ構築に関わるものであり、期中の新たな組み入れはありませんでした。また、当期中に全売却を行った銘柄はありませんでした。

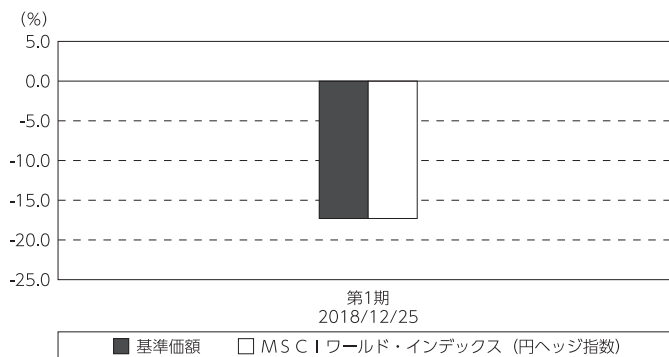
当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は△17.3%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）の騰落率△17.3%とほぼ同水準の結果となりました。

当期において、セクター別における銘柄選択が主なプラス要因となりました。「エネルギー」と「ヘルスケア」におけるプラス寄与度が相対的に大きくなりました。一方、国別では、「英国」における銘柄選択がマイナス要因となりました。国別配分はプラス要因となりました。「米国」の組入比率をベンチマークより低めとしたこと、「スイス」

「フランス」「オランダ」など欧州諸国の組入比率をベンチマークより高めとしたことがプラス要因となりました。一方、セクター配分はマイナス要因となりました。期中の下落率が最も大きくなった「エネルギー」の組入比率をベンチマークより高めとしていたことがマイナスに影響した一方、同様に下落が大きかった「情報技術」の組入比率をベンチマークより低めとしたことはプラスに寄与しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス（円ヘッジ指数）は、ベンチマークです。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2018年10月5日～ 2018年12月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジをすることで為替変動リスクの低減を図ります。

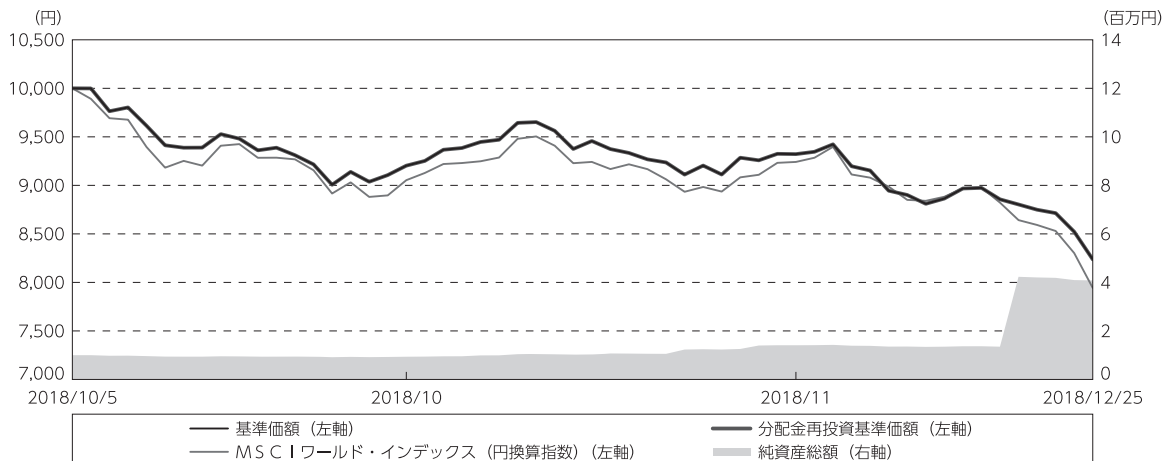
マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特徴は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

○運用経過

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

期中の基準価額等の推移

(2018年10月5日～2018年12月25日)



設定日：10,000円

期末：8,237円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 17.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) MSCIワールド・インデックス(円換算指数)は、ベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE NV (オランダ/食品・生活必需品小売り)の株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式を実質的な主要投資対象としているため、投資対象の全株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

- ・ UNITED TECHNOLOGIES (米国/資本財)、CITIGROUP (米国/銀行)、CANADIAN NATURAL RESOURCES (カナダ/エネルギー) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・ 実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、投資対象資産の全通貨が対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド (以下、マザーファンドといいます。) に投資を行い、マザーファンドを通じて、日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式の中から、独自のバリュース・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。実質株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「金融」「エネルギー」をオーバーウェイトとした一方、「情報技術」「一般消費財・サービス」などをアンダーウェイトとしました。当期の新規組入銘柄は、全てファンド設定に伴うポートフォリオ構築に関わるものであり、期中の新たな組み入れはありませんでした。また、当期中に全売却を行った銘柄もありませんでした。

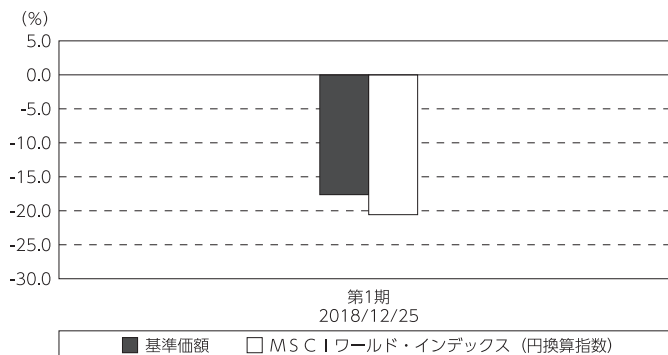
当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は $\Delta 17.6\%$ となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス (円換算指数) の騰落率 $\Delta 20.6\%$ を上回る結果となりました。

当期において、セクター別における銘柄選択が主なプラス要因となりました。「エネルギー」と「ヘルスケア」におけるプラス寄与度が相対的に大きくなりました。一方、国別では、「英国」における銘柄選択がマイナス要因となりました。国別配分はプラス要因となりました。「米国」の組入比率をベンチマークより低めとしたこと、「スイス」

「フランス」「オランダ」など欧州諸国の組入比率をベンチマークより高めとしたことがプラス要因となりました。一方、セクター配分はマイナス要因となりました。期中の下落率が最も大きくなっ

基準価額とベンチマークの対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) MSCIワールド・インデックス (円換算指数) は、ベンチマークです。

た「エネルギー」の組入比率をベンチマークより高めとしていたことがマイナスに影響した一方、同様に下落が大きかった「情報技術」の組入比率をベンチマークより低めとしたことはプラスに寄与しました。為替効果については、当期中、対円で下落した英ポンドをベンチマーク以上の組み入れとしていたことが、主なマイナス要因となりました。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2018年10月5日～ 2018年12月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてマザーファンドへの投資を通じて日本を含む世界各国(エマージング国を除く)の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄を厳選し投資を行います。実質外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特色は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)

○ 1万口当たりの費用明細

(2018年10月5日～2018年12月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0. 201)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0. 194)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 024)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0. 006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0. 006)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0. 025	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0. 025)	
(d) そ の 他 費 用	131	1. 414	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(129)	(1. 395)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 010)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(1)	(0. 010)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	173	1. 865	
<p style="text-align: center;">期中の平均基準価額は、9,237円です。</p>			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月5日～2018年12月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	千口 321	千円 1,026	千口 10	千円 29

(注) 単位未満は切捨てています。

○株式売買比率

(2018年10月5日～2018年12月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,838,023千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,370,093千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.23

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a) は各月末 (決算日の属する月については決算日)、(b) は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月5日～2018年12月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2018年10月5日～2018年12月25日)

設定時 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時又は当初運用時における 取得等

○組入資産の明細

(2018年12月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド		311	810

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	810	97.0
コール・ローン等、その他	26	3.0
投資信託財産総額	836	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界先進国株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (14,765,660千円) の投資信託財産総額 (15,558,729千円) に対する比率は94.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年12月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.07円、1カナダドル=80.96円、1ユーロ=125.44円、1英ポンド=139.68円、1スイスフラン=111.51円、1ノルウェークローネ=12.58円、1オーストラリアドル=77.60円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,641,779
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド(評価額)	810,637
未収入金	831,142
(B) 負債	809,782
未払金	805,690
未払信託報酬	3,908
その他未払費用	184
(C) 純資産総額(A-B)	831,997
元本	1,006,100
次期繰越損益金	△ 174,103
(D) 受益権総口数	1,006,100口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,270円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

1. 設定時元本額 1,000,000円
 期中追加設定元本額 16,980円
 期中一部解約元本額 10,880円
2. 元本の欠損
 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は174,103円です。

○損益の状況 (2018年10月5日～2018年12月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△155,976
売買益	38,392
売買損	△194,368
(B) 信託報酬等	△ 17,052
(C) 当期損益金(A+B)	△173,028
(D) 追加信託差損益金	△ 1,075
(売買損益相当額)	(△ 1,075)
(E) 計(C+D)	△174,103
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	△174,103
追加信託差損益金	△ 1,075
(配当等相当額)	(16)
(売買損益相当額)	(△ 1,091)
繰越損益金	△173,028

- (注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B) 信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。
 (注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(16円)より分配対象収益は16円(1万口当たり0.15円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)

○ 1万口当たりの費用明細

(2018年10月5日～2018年12月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	39	0.420	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.201)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(18)	(0.194)	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.024)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.007	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(1)	(0.007)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.031	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.031)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.034	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(1)	(0.011)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	46	0.492	
期中の平均基準価額は、9,262円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年10月5日～2018年12月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	千口 1,570	千円 4,519	千口 0.194	千円 0.553

(注) 単位未満は切捨てています。

○株式売買比率

(2018年10月5日～2018年12月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	3,838,023千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,370,093千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.23

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a) は各月末 (決算日の属する月については決算日)、(b) は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年10月5日～2018年12月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定、解約状況

(2018年10月5日～2018年12月25日)

設定時 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取引の理由
百万円 1	百万円 —	百万円 —	百万円 1	当初設定時又は当初運用時における 取得等

○組入資産の明細

(2018年12月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド		1,570	4,086

(注) 単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド	4,086	100.0
投資信託財産総額	4,086	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) インベスコ 世界先進国株式 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (14,765,660千円) の投資信託財産総額 (15,558,729千円) に対する比率は94.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年12月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.07円、1カナダドル=80.96円、1ユーロ=125.44円、1英ポンド=139.68円、1スイスフラン=111.51円、1ノルウェークローネ=12.58円、1オーストラリアドル=77.60円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,086,250
インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド(評価額)	4,086,250
(B) 負債	6,001
未払信託報酬	5,720
その他未払費用	281
(C) 純資産総額(A-B)	4,080,249
元本	4,953,355
次期繰越損益金	△ 873,106
(D) 受益権総口数	4,953,355口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,237円

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

1. 設定時元本額 1,000,000円
 期中追加設定元本額 3,953,982円
 期中一部解約元本額 627円
2. 元本の欠損
 貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は873,106円です。

○損益の状況 (2018年10月5日～2018年12月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△433,098
売買益	55
売買損	△433,153
(B) 信託報酬等	△ 6,001
(C) 当期損益金(A+B)	△439,099
(D) 追加信託差損益金	△434,007
(売買損益相当額)	(△434,007)
(E) 計(C+D)	△873,106
(F) 収益分配金	0
次期繰越損益金(E+F)	△873,106
追加信託差損益金	△434,007
(配当等相当額)	(1,252)
(売買損益相当額)	(△435,259)
繰越損益金	△439,099

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B) 信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,252円)より分配対象収益は1,252円(1万口当たり2円)となりましたが、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。



インベスコ 世界先進国株式 マザーファンド

運用報告書

第40期

決算日 2018年12月25日

(計算期間：2018年6月26日から2018年12月25日まで)

運用方針	<p>①日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式に投資します。</p> <p>②日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、当社独自のバリュース・アプローチによりグローバル比較でみた割安銘柄に分散投資し、投資信託財産の長期的な成長をめざします。当ファンドのベンチマークは、MSCIワールド・インデックス（円換算指数）とします。</p> <p>③銘柄選択にあたっては、当社独自の財務分析、経営力、ビジネス評価等ファンダメンタル分析と株価の適正水準評価等ボトム・アップ・アプローチにより行います。</p> <p>④株式の組入比率は、原則として高位を維持します。ただし、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。</p>
主要運用対象	日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式を主要投資対象とします。
組入制限	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、取得時において投資信託財産の純資産総額の20%以下とします。</p> <p>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>④同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。</p>

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<http://www.invesco.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		MSCIワールド・インデックス (円換算指数) (ベンチマーク)		株式 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率	円	騰落率		
36期(2016年12月26日)	26,649	14.5%	205,856	17.8%	97.6%	4,800 百万円
37期(2017年6月23日)	27,916	4.8%	214,002	4.0%	98.0%	5,026
38期(2017年12月25日)	31,868	14.2%	237,736	11.1%	96.9%	9,055
39期(2018年6月25日)	31,008	△2.7%	231,983	△2.4%	95.7%	12,742
40期(2018年12月25日)	26,019	△16.1%	198,451	△14.5%	96.3%	15,554

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) ベンチマークとしてMSCIワールド・インデックス(円換算指数)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社で独自に円換算しています。

MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を含む世界の先進国で構成されています。また、MSCIワールド・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。以下同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCIワールド・インデックス (円換算指数) (ベンチマーク)		株式 組入比率
	円	騰落率	円	騰落率	
(期首) 2018年6月25日	31,008	—	231,983	—	95.7%
6月末	30,653	△1.1%	229,881	△0.9%	97.3%
7月末	31,879	2.8%	238,477	2.8%	97.6%
8月末	31,416	1.3%	242,284	4.4%	97.8%
9月末	32,353	4.3%	248,571	7.2%	96.8%
10月末	29,468	△5.0%	226,201	△2.5%	96.5%
11月末	29,818	△3.8%	230,898	△0.5%	98.6%
(期末) 2018年12月25日	26,019	△16.1%	198,451	△14.5%	96.3%

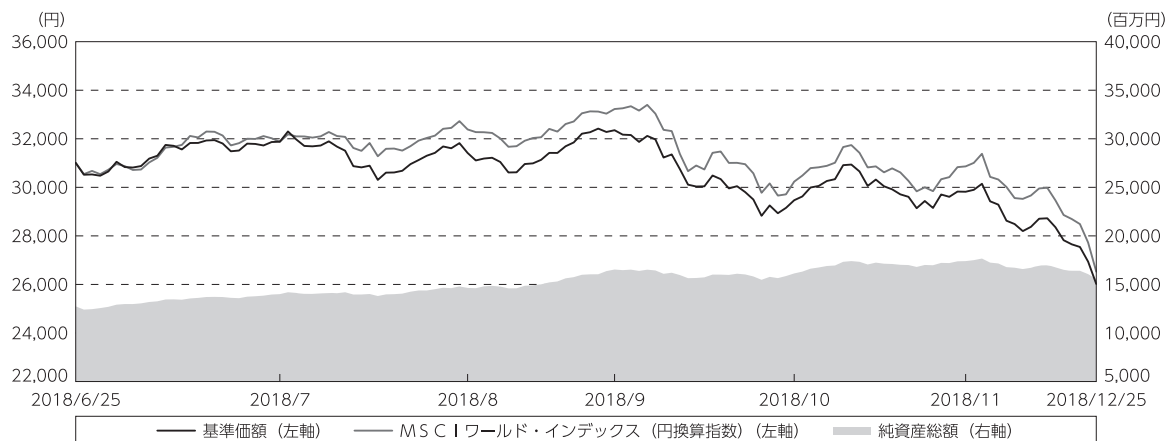
(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年6月26日～2018年12月25日)



期首：31,008円

期末：26,019円

騰落率：△ 16.1%

(注) MSCIワールド・インデックス (円換算指数) は、期首 (2018年6月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) MSCIワールド・インデックス (円換算指数) は、ベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチにより銘柄選択を行った結果、PFIZER (米国/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、NOVARTIS (スイス/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス)、ROCHE HOLDING-GENUSSCHEIN (スイス/医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス) などの株価の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・日本を含む世界各国 (エマージング国を除く) の株式を主要投資対象としているため、投資対象の大多数の株式市場が下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・CANADIAN NATURAL RESOURCES (カナダ/エネルギー)、NEXT (英国/小売)、LAS VEGAS SANDS (米国/消費者サービス) などの株価の下落が、基準価額の下落要因となりました。
- ・外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、投資対象資産の通貨においてユーロ、英ポンド、オーストラリアドル、ノルウェークローネなどが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

TOPIX (東証株価指数) (日本)	△18.1%	S & P500指数 (米国)	△13.5%
FTSE100指数 (英国)	△11.0%	DA X指数 (ドイツ)	△13.3%
CAC40指数 (フランス)	△12.4%		
米ドル/円	110円07銭 (前期末109円69銭)	ユーロ/円	125円44銭 (同127円82銭)

※株価指数の騰落率は当期末時点（対前期末比）、米ドル/円およびユーロ/円は当期末の数値です。

<株式市場>

当期の世界の株式市場は、ほぼ全ての地域で下落しました。

米国株式市場は、①長期金利上昇への警戒感の高まり、②米中貿易摩擦の激化、③国際通貨基金（IMF）による世界の経済成長見通しの下方修正—などに対して懸念が高まったことなどから、株価が下落しました。欧州では、①イタリアの政局不安が嫌気されたこと、②トルコリラの急落を受けて経済関係が密接である欧州全体で投資家心理が悪化したこと—などから、ドイツやフランスを中心に株価が前期末を大きく下回る水準で当期末を迎えました。英国の株式市場は、英国の欧州連合（EU）からの離脱（ブレグジット）をめぐる交渉が難航していることが嫌気され、株価が下落しました。日本の株式市場は、米中貿易摩擦の激化や世界的なリスク回避の動きを受けて下落しました。

<為替市場>

期初1米ドル109円台でスタートした米ドル/円レートは、米国長期金利の上昇などから円安/米ドル高が進み、期末には1米ドル110円台となりました。

期初1ユーロ127円台だったユーロ/円レートは、イタリアの政局不安やトルコリラの急落などの影響から、期末には1ユーロ125円台とユーロが円に対し下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

主として、日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチによりグローバル比較で見た割安銘柄に投資を行いました。また、外貨建資産の投資に当たっては、為替ヘッジを行いませんでした。

ポートフォリオの構築に当たっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選しました。株式組入比率は、期を通じて高位を維持しました。セクター別では、主に「エネルギー」「金融」をオーバーウェイトとした一方、「情報技術」「一般消費財・サービス」などをアンダーウェイトとしました。当期中、新規に組み入れた銘柄は、CRH（アイルランド/素材）です。新興国市場のビジネスリスクが低く、今後米国におけるインフラ投資の活発化を見通す中での良好な収益見通しや、高収益事業に焦点を絞った経営方針などを考慮し、新規に組み入れを行いました。一方、AIRBUS（フランス/資本財）、UNION PACIFIC（米国/運輸）、HISCOX（英国/保険）は、目標株価到達後の上昇余地は限定的と判断し、全売却しました。受注見通しの不透明性やスポーツシューズの利幅縮小で収益見通しが悪化したYUE YUEN INDUSTRIAL HOLDINGS（香港/耐久消費財・アパレル）や、安定的なビジネス・モデルという組入当初の投資テーマを見直したNIELSEN HOLDINGS（米国/商業・専門サービス）も、より魅力ある投資機会を模索するために売却しました。

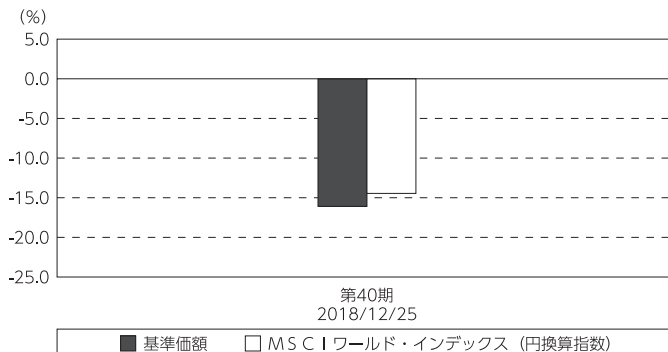
当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は△16.1%となり、ベンチマークであるMSCIワールド・インデックス（円換算指数）の騰落率△14.5%を下回る結果となりました。

ファンドとベンチマークの騰落率の差異は、主にセクター配分と個別銘柄選択のマイナス要因によるものでした。当期中、最も下落率が大きかった「エネルギー」の組入比率をベンチマークより高めとしたことが大きなマイナス要因となりました。銘柄選択効果は、「ヘルスケア」や「エネルギー」

における銘柄選択が比較的大きなプラスであったものの、「資本財・サービス」「一般消費財・サービス」「生活必需品」における銘柄選択がマイナスに影響し、全体ではマイナス要因となりました。国別でも、「英国」の銘柄選択が大きなマイナス要因となりました。一方、「スイス」の組入比率をベンチマークより高めとしたことはプラス要因となりました。為替効果については、期中、対円で下落した英ポンドをベンチマーク以上、対円で上昇した米ドルをベンチマーク以下の組み入れとしていたことが、主なマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) MSCIワールド・インデックス（円換算指数）は、ベンチマークです。

○今後の運用方針

主として日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自のバリュー・アプローチにより、グローバル比較で見た割安銘柄に投資を行う方針です。ポートフォリオの構築に当たっては、独自の財務分析、経営力、ビジネス評価などのファンダメンタルズ分析と株価の適正水準評価などに基づくボトムアップ・アプローチによって銘柄を厳選します。また、外貨建資産への投資に当たっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

エマージング諸国を除く、世界に点在する企業の中から、国籍にかかわらず、ビジネス・モデルと経営陣の資質が優れていると判断した企業を発掘します。特に着目している企業の特色は、フリー・キャッシュフロー創出力と株主還元を踏まえた、配当成長力です。また、銘柄数を厳選し、長期的視点から投資を行う方針です。今後も、株価バリュエーション判断を重視し、相対的に割安度が高いと判断した銘柄への組み替えを行っていきます。

○当ファンドのデータ

(2018年12月25日現在)

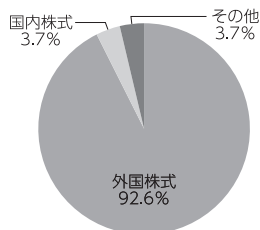
【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	ORANGE	電気通信サービス	ユーロ	フランス	4.0
2	ROYAL DUTCH SHELL-A	エネルギー	ユーロ	オランダ	3.6
3	CHEVRON	エネルギー	米ドル	アメリカ	3.3
4	BP	エネルギー	英ポンド	イギリス	3.3
5	PFIZER	医薬品/バイオテクノロジー/ライオサイエンス	米ドル	アメリカ	3.1
6	TOTAL	エネルギー	ユーロ	フランス	3.1
7	NOVARTIS	医薬品/バイオテクノロジー/ライオサイエンス	スイスフラン	スイス	3.0
8	ROCHE HOLDING-GENUSSSCHEIN	医薬品/バイオテクノロジー/ライオサイエンス	スイスフラン	スイス	3.0
9	UNITED TECHNOLOGIES	資本財	米ドル	アメリカ	2.5
10	AMGEN	医薬品/バイオテクノロジー/ライオサイエンス	米ドル	アメリカ	2.5
組入銘柄数		46銘柄			

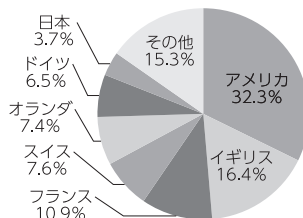
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国（地域）につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

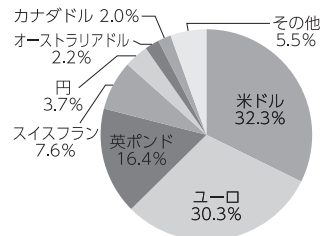
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年6月26日～2018年12月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 5 (5)	% 0.017 (0.017)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	26 (26)	0.085 (0.085)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	35	0.114	
期中の平均基準価額は、30,931円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年6月26日～2018年12月25日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 49	千円 273,690	千株 —	千円 —
	アメリカ	百株 2,845	千米ドル 23,249	百株 1,442 (—)	千米ドル 9,218 (24)
外 国	カナダ	475	千カナダドル 1,957	—	千カナダドル —
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	613	3,514	—	—
	イタリア	4,688	1,034	—	—
	フランス	2,858	6,186	102	989
	オランダ	2,120	4,028	252	547
	スペイン	3,316	1,246	575	223
	アイルランド	727	2,044	—	—
	イギリス	19,929 (105,040)	千英ポンド 10,671 (10)	6,164 (—)	千英ポンド 2,661 (10)
	スイス	414	千スイスフラン 3,954	—	千スイスフラン —
ノルウェー	516	千ノルウェークローネ 11,161	549	千ノルウェークローネ 11,863	
オーストラリア	1,706	千オーストラリアドル 2,327	—	千オーストラリアドル —	
香港	—	千香港ドル —	755	千香港ドル 1,697	

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てています。

(注) () 内は株式分割、株式転換、増資割当、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注) 地域は発行通貨によって区分しています。ただし、ユーロ建ての外国株式は発行体の国籍（所在国）などによって区分しています。以下、同じです。

○株式売買比率

(2018年6月26日～2018年12月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	9,568,259千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,847,983千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.64

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注) 外国株式の(a)は各月末（決算日の属する月については決算日）、(b)は各月末のわが国の対顧客電信売買相場仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

(2018年6月26日～2018年12月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年12月25日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期		評 価 額
	株 数	株 数	株 数	株 数	
輸送用機器 (59.3%)		千株		千株	千円
トヨタ自動車		34.3		56.4	342,855
銀行業 (40.7%)					
三井住友フィナンシャルグループ		38.6		66.2	235,274
合 計	株 数	72	株 数	122	578,130
	銘柄 数 < 比 率 >	2		2	< 3.7% >

(注) 銘柄欄の () 内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注) 評価額欄の < > 内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 株数は千株単位で記載しています。ただし、単位未満の場合は、小数で記載しています。

外国株式

銘柄	株 数	当 期 末				業 種 等
		株 数	評 価 額		千円	
			株 数	外貨建金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
JPMORGAN CHASE & CO	281	295	2,720	299,438	銀行	
CITIGROUP	350	560	2,760	303,808	銀行	
WELLS FARGO	464	719	3,137	345,339	銀行	
PFIZER	846	1,086	4,406	485,035	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
CHEVRON	302	468	4,731	520,849	エネルギー	
UNION PACIFIC	90	—	—	—	運輸	
UNITED TECHNOLOGIES	215	344	3,511	386,474	資本財	
WILLIAMS-SONOMA	343	550	2,507	276,043	小売	
LAS VEGAS SANDS	217	567	2,749	302,653	消費者サービス	
AON	174	188	2,596	285,753	保険	
TE CONNECTIVITY	187	340	2,408	265,065	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
NIELSEN HOLDINGS	605	—	—	—	商業・専門サービス	
AMGEN	125	194	3,465	381,458	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
GILEAD SCIENCES	295	472	2,860	314,856	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MICROSOFT	242	221	2,085	229,597	ソフトウェア・サービス	

銘柄	株数	期首(前期末)		当期		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
NASDAQ	304	400	3,071	338,134	各種金融	
BROADCOM	70	112	2,635	290,052	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額	5,119	6,523	45,648	5,024,561	
	銘柄数<比率>	17	15	-	<32.3%>	
(カナダ)			千カナダドル			
CANADIAN NATURAL RESOURCES	796	1,271	3,845	311,297	エネルギー	
小計	株数・金額	796	1,271	3,845	311,297	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<2.0%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
DEUTSCHE POST-REG	665	1,038	2,504	314,179	運輸	
BASF	241	421	2,556	320,686	素材	
ALLIANZ-REG	109	170	2,976	373,402	保険	
小計	株数・金額	1,016	1,629	8,037	1,008,268	
	銘柄数<比率>	3	3	-	<6.5%>	
(ユーロ…イタリア)						
INTESA SANPAOLO	8,328	13,016	2,488	312,214	銀行	
小計	株数・金額	8,328	13,016	2,488	312,214	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<2.0%>	
(ユーロ…フランス)						
AIRBUS	102	-	-	-	資本財	
ORANGE	2,268	3,511	4,952	621,293	電気通信サービス	
CARREFOUR	664	1,757	2,550	319,901	食品・生活必需品小売り	
BNP PARIBAS	346	553	2,145	269,152	銀行	
TOTAL	527	842	3,811	478,163	エネルギー	
小計	株数・金額	3,908	6,664	13,460	1,688,511	
	銘柄数<比率>	5	4	-	<10.9%>	
(ユーロ…オランダ)						
ROYAL DUTCH SHELL-A	1,063	1,776	4,447	557,953	エネルギー	
KONINKLIJKE AHOLD DELHAIZE NV	867	1,028	2,268	284,515	食品・生活必需品小売り	
ING GROEP NV-CVA	1,664	2,658	2,477	310,725	銀行	
小計	株数・金額	3,595	5,463	9,193	1,153,193	
	銘柄数<比率>	3	3	-	<7.4%>	
(ユーロ…スペイン)						
CAIXABANK	6,245	8,986	2,776	348,316	銀行	
小計	株数・金額	6,245	8,986	2,776	348,316	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<2.2%>	
(ユーロ…アイルランド)						
CRH	-	727	1,640	205,745	素材	
小計	株数・金額	-	727	1,640	205,745	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<1.3%>	
ユーロ計	株数・金額	23,094	36,487	37,597	4,716,249	
	銘柄数<比率>	13	13	-	<30.3%>	
(イギリス)			千英ポンド			
BAE SYSTEMS	2,164	3,463	1,563	218,450	資本財	
BRITISH AMERICAN TOBACCO	434	711	1,792	250,417	食品・飲料・タバコ	
LEGAL & GENERAL GROUP	6,858	4,834	1,095	153,010	保険	
BP	4,713	7,296	3,640	508,458	エネルギー	
TESCO	7,101	10,772	2,046	285,896	食品・生活必需品小売り	
ROLLS-ROYCE HOLDINGS	-	2,851	2,284	319,083	資本財	
EASYJET	1,112	1,653	1,816	253,789	運輸	
ROYAL BANK OF SCOTLAND GROUP	4,545	9,510	1,959	273,653	銀行	

銘柄	株数	当 期		業 種 等
		株数	評 価 額	
(イギリス)	百株	百株	千円	
HISCOX	549	—	—	保険
NEXT	360	511	2,054	小売
(イギリス…非上場)				
ROLLS-ROYCE HOLDINGS-ENT	—	105,040	10	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	27,841 9	146,646 10	18,264 — <16.4%>
(スイス)			千スイスフラン	
NOVARTIS	328	507	4,239	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ROCHE HOLDING-GENUSSCHEIN	109	174	4,239	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ADECCO GROUP	283	452	2,077	商業・専門サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	720 3	1,134 3	10,557 — <7.6%>
(ノルウェー)			千ノルウェークローネ	
EQUINOR	1,274	1,241	22,771	エネルギー
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,274 1	1,241 1	22,771 — <1.8%>
(オーストラリア)			千オーストラリアドル	
AMCOR	1,633	3,340	4,348	素材
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,633 1	3,340 1	4,348 — <2.2%>
(香港)			千香港ドル	
YUE YUEN INDUSTRIAL HOLDINGS	755	—	—	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	755 1	— —	— — <—%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	61,235 46	196,646 44	— — <92.6%>

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注) 株数および評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 業種はG I C S (世界産業分類基準) に準じています。

(注) 期中に銘柄コード等の変更があった場合は、当該銘柄は期首とは別銘柄として記載しています。

(注) —印は組み入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 14,982,593	% 96.3
コール・ローン等、その他	576,136	3.7
投資信託財産総額	15,558,729	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産 (14,765,660千円) の投資信託財産総額 (15,558,729千円) に対する比率は94.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年12月25日における邦貨換算レートは、1米ドル=110.07円、1カナダドル=80.96円、1ユーロ=125.44円、1英ポンド=139.68円、1スイスフラン=111.51円、1ノルウェークローネ=12.58円、1オーストラリアドル=77.60円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	15,574,485,261	
コール・ローン等	551,340,018	
株式(評価額)	14,982,593,584	
未収入金	16,097,719	
未収配当金	24,453,940	
(B) 負債	20,390,042	
未払金	15,755,931	
未払解約金	4,633,494	
未払利息	617	
(C) 純資産総額(A-B)	15,554,095,219	
元本	5,978,065,766	
次期繰越損益金	9,576,029,453	
(D) 受益権総口数	5,978,065,766口	
1万円当たり基準価額(C/D)	26,019円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額 4,109,534,409円
 期中追加設定元本額 2,641,504,567円
 期中一部解約元本額 772,973,210円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
 インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型) 5,097,458,497円
 インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型) 592,300,852円
 インベスコ 世界先進国株式オープン(適格機関投資家専用) 245,912,511円
 インベスコ グローバル・バリュー・エクイティ・オープン VA(適格機関投資家専用) 40,511,863円
 インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型) 1,570,487円
 インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型) 311,556円
 合計 5,978,065,766円

○損益の状況 (2018年6月26日~2018年12月25日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	180,222,898	
受取配当金	178,822,054	
受取利息	320,041	
その他収益金	1,180,647	
支払利息	△ 99,844	
(B) 有価証券売買損益	△3,091,573,965	
売買益	240,990,253	
売買損	△3,332,564,218	
(C) 保管費用等	△ 1,833,463	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△2,913,184,530	
(E) 前期繰越損益金	8,633,226,775	
(F) 追加信託差損益金	5,469,161,714	
(G) 解約差損益金	△1,613,174,506	
(H) 計(D+E+F+G)	9,576,029,453	
次期繰越損益金(H)	9,576,029,453	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。